

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和3年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 総合評価

市	S	<p>【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中でも、感染対策を行った上で小規模なイベントを数多く開催し、施設の魅力を高めている点について評価する。 本施設の設置の趣旨を踏まえ、入居する工芸作家及び民話館の語り部とも連携しながら、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めている。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 いろは舎は、オープン1年が経過したので、検証を行いさらなる来館者の増加、販売促進につながるような運営に努める必要がある。</p>
---	---	---

指定 管理 者	S	<p>【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策が緩和されたことにより、各種イベントの人数制限や開催期間を長く設定するなど工夫をこらしながら開催し、利用を前年度から大幅に増加することができた。 また、工芸館のリノベーション後、いろは舎をオープンし、クラフト作家の作品の展示並びに販路拡大に努めた。また、交流ホールの利用促進を図り、ものづくりのみならず、市民活動の場として大いに機能することができた。自然の森の整備を心がけ、市民の方々の憩いの場として、大いに利用された。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 民話館は、パネル展示をはじめ、映像機器の故障等の課題があるので、引き続き松江市と協議する必要がある。</p>
---------------	---	--

2. 施設利用の増減について

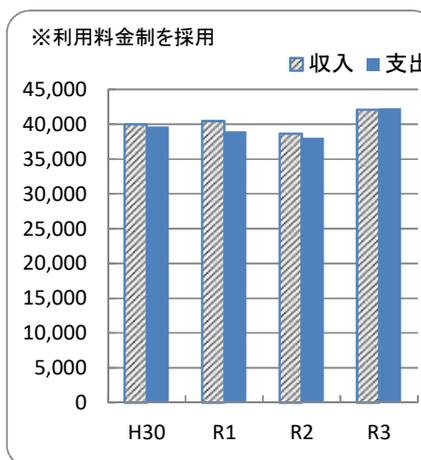
総 括	<p>施設利用者数について、新型コロナウイルスの影響を受けた前年度に比べ、58.1%の増となった。今年度も移動制限などの影響等がある中、感染対策を行ったうえで小規模なイベントを回数多く開催し、利用促進を図った点、また、急遽延期となったイベントについても作家等との調整を図り適切な対応を行った点などについて評価できる。</p>
--------	--

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H30	R1	R2	R3
施設 の 収 支	収入	39,963	40,466	38,663	42,073
	うち指定管理料	39,636	40,135	38,409	40,538
	うち利用料	327	331	254	421
	支出	39,679	38,968	38,079	42,309
	差引	284	1,498	584	△ 236

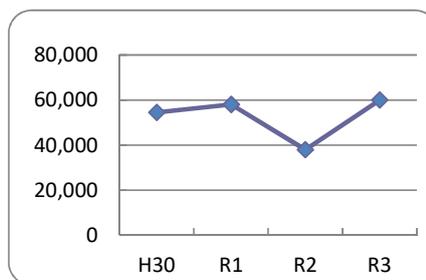
上記以外の市の収入、支出

市 の 収 支	収入(使用料)	83	71	58	78
	支出	4,085	21,347	32,563	4,575
	うち市の修繕費	3,977	20,130	1,582	1,693



(2) 利用者の推移

	H30	R1	R2	R3
(人)	54,418	58,014	37,954	60,003



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用人数(人)	49,337	53,000	53,239	100.5%	107.9%
	②モニタリングにおける顧客満足度(%)	70	70	97	139.1%	139.1%
	③工芸作家、民話館「とんとお話し会」との連携によるものづくり体験教室や民話の伝承	実施	企画・実施	企画・実施	—	—
	④新緑祭り(5月実施)(人)	2,500	3,000	4,189	139.6%	167.6%
	⑤夏祭り(7月実施)(人)	2,500	3,000	中止	—	—
アウトカム	モニタリング調査における下記質問事項の肯定的割合(%) ・出雲地方の歴史や文化について関心が高まった。 ・学習の成果を活用したいと思う。 ・生涯にわたって学習したいと思う意欲がある。	70	70	78		
				達成度平均	126.4%	138.2%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、夏祭りは中止したが、その代替事業として、一か月のものづくりワークショップや、森のイベントなどを行った。また、小規模な催しを回数を増やす形で開催した。民話館について、パネル展示をはじめ、故障した映像機器の改修等について、引き続き松江市と協議していく必要がある。自然の森については、国の助成金等を利用し、市民が憩う森作りを継続していく。	令和3年度は新型コロナウイルス蔓延防止による移動制限などの感染拡大防止対策が緩和されたことにより、各種イベントを人数制限や開催期間を長く設定するなどの工夫をこらすことで基準を上回ることができている。目標も実施できたイベント等についても上回ることでできている。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
39	①満足している 38件(97.4%) ②どちらともいえない 0件(0%) ③満足していない 1件(2.6%)	①良い ・機織り体験の指導が親切だった ・春祭りで食べたピザがおいしかった 等 ②苦情 ・職員の対応について少し不満だった ③要望 特になし

(4)住民サービス向上の事例

令和3年度は、工芸品などを展示販売するいろは舎が7月にグランドオープンし、市内作家の支援及び販路拡大に努めた。

3. 自主事業

総括	令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止による移動制限、自粛などの対策が実施され、イベント開催が制限された。その中で、丘のクラフト展は当初予定していた開催時期を変更し開催することができ、出品作家や愛好者の期待に応えることができた。また、丘のクラフト塾、語りイベント、森のイベントなどは、感染防止対策から小規模なものを回数を増やす形で開催したことにより、月別ではばらつきがあるものの利用者を増やすことができた。
実施状況	新型コロナウイルス感染拡大防止による移動制限、自粛などの対策が実施され、イベント開催が制限された中で、丘のクラフト展は当初予定していた開催時期を変更し開催することができた。そのほかにも森を利用したイベント等開催していた。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	指定管理者 評価	松江市 評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A	A
広報活動	B	B
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A	A
事業計画を実行するために適切な組織・人員配置が練られていたか	A	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A	A
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	C	C
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A	A
清掃業務	A	A
機械設備等の保守点検	A	A
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A	A
松江市への報告	A	A
労働安全衛生	A	A
施設の巡視	A	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A	A
備品の管理	A	A